

## みんなでつくる森の学び場 ～里山保育「ぐーりりの森のこどもえん」

活動地域  新潟県



11月・森の落ち葉かきとたき火パーティー

### 課題

人の暮らしが自然から乖離し、里山は荒廃した。子どもたちがのびのびと遊び学べる環境も明らかに劣化し、本来自然の中で育まれるべき感性や生きる力が十分に養われない。

### 目標

森林整備とその材を活かした学び場づくりと並行して行う、年間を通じた里山保育活動により、子どもたちが森に通う機会が増え、自然への愛着と仲間意識を持つようになる。



### 今後の展望

多様性に富む子どもたちが存在する中で、みんなにとって、「森が日常の一部」として存在するよう、夏休みなどは平日開園に重きをおくなど、開園計画を再考し、可能なかぎりでの開園し、受入れを行っていく。

つづける助成

2年目

実践

### 活動内容と成果

- 年間を通じて、里山保育「ぐーりりの森のこどもえん」を週末に13回、平日に9回開園し、合計294人の参加を得ることができた
- 里山保育活動と並行して、森の手入れを精力的に行い(合計33回)、森林4haを整備した。また、そこで出た材を活用し、東屋やパイオトイレを制作し、森の学び場を充実させた
- 里山保育活動に参加した親子が、整備作業にも参加し、「こうやって森をきれいにしてきていたんですね!」と言ってくれるなど、森への愛着とともに、積極的に活動に関わろうとする姿もみられるようになった



小さな子どもも大きな子ども森の中で一緒に遊ぶ

子どもの参加人数 **294人**

整備・管理できた森の面積 **4ha**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **60%**

### 苦労した点と工夫した点

#### 苦労した点

里山保育が想定以上の人気となり、年齢差や参加回数、保護者のニーズの違いで生じる課題に対応しきれず、担当者がパンクした。

#### 工夫した点

森の中に、雨風を凌げる東屋やパイオトイレを制作し、天候やスタッフ数による活動の制約を緩和、安心して運営できるようにした。



T 959-1931  
新潟県阿賀野市山寺794-499  
E-mail : shelter@tiny.jp  
HP : <http://shelter.tiny.jp/>